

## 第6回ズーム三水会結果報告

2021-12-15 (水) 3時～5時半

テーマ：コロナ後の日本社会を考える

司会：中川雄一郎 討議用資料：野口幹夫

参加者：岡本好廣 野口幹夫 小寺隆三 團野廣一 小関栄 岩垂弘 杉本茂樹

斎藤嘉璋 中川雄一郎 今尾和美 石塚秀雄 鈴木岳 丸山茂樹 富沢賢治 14名

初めに次のスライドを使って討議用の参考資料としてプレゼンした。



### コロナ後の 日本社会を考える

第6回ズーム三水会 2021年12月15日

#### 1. コロナパンデミックの人類史的意義

- ① コロナパンデミックは、ある意味で資本主義グローバリズムが生んだもの。  
一瞬で世界に波及
- ② 資本主義グローバリズムが生んだ人類史的危機として考えてみれば、  
もっと危険で取り返しがつかない危機は 地球環境破壊がある。
- ③ 世界が一つになって、その解決を願うという、かつてない人類史的課題  
があらさまになったことは意味が大きい。

## 2, 起きた社会的現象

---

- ① 国境を閉鎖し人的往来を一時的だが止め、グローバリズムを押しとどめた。  
ただし資本の移動は止まらなかった、⇒株高のいびつ
- ② 経済成長を一時止めた。2酸化炭素放出を初めて低下させた。
- ③ インターネットによるリモートでの新しい人間関係を生んだ。  
医療崩壊を招いた体制のデジタル化の遅れは刺激を受けた。
- ④ 政治と遺伝子医学が早期ワクチン開発を進めた。日本の医薬業の遅れ露呈
- ⑤ 「階層間格差」「国家間格差」が露わになった

2021/12/15

## 3, コロナ被害の国別格差がでた

---

- ① 国のトップが科学に無理解で拡大 ブラジル トランプのアメリカ
- ② 国民が不従順 インド オランダ
- ③ 国の医療体制が不備 アフリカ諸国
- ④ ①②③が当たらない国の抑え込み成功 中国 台湾 韓国  
シンガポール
- ⑤ 日本の課題は第4波で医療崩壊が起き、自宅療養者を多数つくり死者も出た。  
自前のワクチンができなかった

2021/12/15

## 4, コロナ以降でこの変化は残るか

---

- ① グローバリズムは 復活するが
- ② 経済成長 回復させるべく施策を打っているが  
①②は地球環境対策でブレーキ
- ③ インターネットによるリモート人間関係は、その便利さに気づいて広がる  
社会全体のDXが加速するはず、欧州先進国に学ぶべき
- ④ 医療体制の変化は ?

2021/12/15

## 5, 次なる人類危機は地球環境破壊

---

コロナパンデミックで人類全体に及ぶ脅威に対抗することの必要性に目覚めた効果が、地球環境破壊の及ぶ危機に目覚めることを期待したいが現実には……

- ① 衆議院議員選挙で無関心 日本の政治の遅れ 化石賞
- ② 世界はジェネレーション・レフトが動き出した。日本でもそろそろ気配
- ③ 不思議なことにまず企業が動き出した。民衆が見ているのを意識

2021/12/15

## 6、成長を求める資本主義グローバリズムを抑えることに人類は成功するか

内容の無い看板だけと批判されているが、岸田総理は「新しい資本主義」「新自由主義からの脱却」という言葉を使って「新しい資本主義実現会議」を立ち上げようとしている。

自由主義グローバリズム推進の総本家の自民党が、こんなことを言い出したことに注目したい。少なくとも、このような方向性が民衆に受けるとみているのだ。

また人気のなかった菅前総理が、突然のように2050年カーボンニュートラル目標を宣言した。この2事件は注目に値する。

どうせ中身がなく、偽看板に決まっていると冷やかに見るか、歴史のブッシュに動かすと期待するか

2021/12/15

## 7、「元の木阿弥」にしてはいけません。

大いに議論しましょう。

2021/12/15

全員討論の抜粋：

コロナの人類史的意義について。

O様；人間という存在が問われた。ウイルスに戦いを挑まれた。

人口はこれから減少に向かうのではないかと 国際関係が共通の課題に向かう姿勢が強くなった

日本の実力低下があらわになった。

I様からリモートばかりで人間力が養われなくなる

O様：格差が国際的にも国内的にも激しくなった

I様：集会ができなくなったことは諸運動に致命的な影響を出している。

T 様：ラテンアメリカで新しい思想が生まれている。人間の権利ばかり主張してきたが自然の権利を守るという。

S 様：成長を止めなければ、地球破壊で人類は生きていけなくなる。コロナ問題の解決にそれがつけ加わる。

K 氏、国連レベルでの問題解決力を強化するため、安保理の拒否権をなくすなどの改組が必要になるだろう

S 氏、10 年ほど前に研究成果として低成長リサイクル循環型の新農業社会を提案した本を書いたが、それが今こそ生かすべき時代だ。

総論として：

このコロナパンデミックを唯の災難とせず、その立ち直りを世直しの機会ととらえたい。

成長を追いかけず、本物の危機である地球環境破壊の食い止めの新時代ととらえたい。

などなど2時間半にわたって全員から意見が開陳されました、

録画は3篇に分割されて YouTube で見ることができます。

前編 [zoomsansuikai6th-1 - YouTube](#) 中編 [第6回ズーム三水会中編 - YouTube](#)

後編 [ズーム三水会第6回下 - YouTube](#)

なおこの討論会の後2022年の三水会発表スケジュールが決まりました。次ページの通りです。

N	ZN	開催日	テーマ	発表者	司会
502	7	2022-1-19	南アメリカにおける新しい社会経済動向	富沢賢治	岡本好廣
503	8	2022-2-16	仮名 生命科学の動向	本田新	村澤澄子
504	9	2022-3-16	埴輪のほほえみ	野口幹夫	小寺隆三
505	10	2022-4-40	AI 時代における人間性について	小関 栄	團野廣一
506	11	2022-5-18	樺太・サハリンの生活を振り返って	岡本好廣	小関 栄
507	12	2022-6-15	未定	團野廣一	大多和巖
508	13	2022-7-20	MMT / 現代貨幣理論について	今尾和実	岩垂 弘
509	14	2022-8-17	三浦一族の興亡 ～宗家が二度滅亡した 数奇な一族～	大多和巖	斎藤嘉璋
510	15	2022-9-21	最近の生協の動向について	斎藤嘉璋	中川雄一郎
511	16	2022-10-19	未定	鈴木岳	今尾和実
512	17	2022-11-16	未定	丸山茂樹	石塚秀雄
513	18	2022-12-21	共同討議未定		